

2014年 新春特別対談

進について」と題する通知が業界関係に送付され、この中で、昨年5月時点での調査で、「いまだ履行されているとはいえない状況が認められる」とし、「由々しき事態」と指摘を受けましたね。

楠 ばちんこ営業に係る賞品の取りそえの充実、客の多様な要望を満たし、換金需要を低減させるためのものであり、法令上の義務であるだけでなく、ばちんこが大衆娯楽として国民の支持を受けらる上で業界において自主的に取り組まなければならない事項であると思います。ですから、貴協会には、他団体と連携して、賞品の取りそえの充実、に不断に努めていただきたいと思っています。

なお、その際には、無体物等といった法に抵触する賞品の提供がなされないことにも注意をお願いします。

車内放置死 昨年は未然に防ぐホールの努力評価

庄司 駐車場での車内放置による子供の痛ましい死亡事故については、昨年は幸いゼロでした。これはホール関係5

クラ840本を植林しました。この植林は「仙台 共生の森」と名づけられ、現在順調に育っています。日遊協では今後、このプロジェクトへ継続的に参加していきたいと考えています。

また、埼玉県嵐山町の里山づくり10年計画「共生の森」は7年目を迎え、下草刈りなどの手入れが続けられています。このほか、各地のホールでは老人ホームのお年寄りの無料招待や地域の清掃活動など、社会福祉や地域との関わりを重視した活動が浸透しています。**楠** 東日本大震災から、3年近くが経過しましたが、現在も貴協会からボランティア隊を派遣され、復興支援活動を継続しておられるとのことであり、その献身的な対応に敬意を表する次第です。

また、社会福祉事業への支援に加え、清掃活動等を進めておられるところであり、これらの取組は、業界の社会貢献活動として高い評価を受けるのではないかと考えています。

今後も、このような活動を幅広く浸透させることが、業界全体の活性化と評価につながるのではないかと考えています。

団体が「子供の車内放置防止対策マニュアル」をつくるなどとして、全ホールへアピールした効果だとも思っています。とはいえ、その一因でもある依存問題（のめり込み問題）は依然として深刻で、相談機関のリカバリーサポート・ネットワークへの平成24年度の相談件数は、月平均213件と前年より倍増しています。依存対策は1団体では手に負



橋 芳伸 課長 ● 副課長
広島県出身。京都大学法学部卒。1989年警察庁入庁。千葉県警刑事部長、警察庁会計企画官兼会計課理事官、警視庁犯罪防止対策本部副部長兼警視庁・交通・警備・地域・公安・生安・相対部事務官を経て、12年8月、北海道警警務部長。47歳。

庄司会長が千夫の年の歳か物を持って新春の記念撮影

えず、業界全体で取り組んでいくべき課題と考えています。**楠** 昨年は、5年連続で死亡事故が発生していたばちんこ店駐車場における児童の車内放置死案を未然に防ぐことができました。これは、各ホールの営業者が、ホール関係5団体で策定したマニュアルを日々の営業の中で活用し、対策を強化したほか、遊技機販売会社団体においても、ホール駐車場の定期的な巡回活動等の取組を継続的に実施したことなどによるものと考えております。

今年も、引き続き、広報啓発を始め駐車場のパトロールの強化等の取組をお願いします。

RSN支援など活動強化して若しむ人に対応

依存問題相談機関である特定非営利法人リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)については、平成18年の開設以来、1万1千件を超える相談に対応していることとあり、のめり込み起因の問題が深刻化

イメージアップへPRの重要性と次世代への教育

庄司 企業にとっても遊技産業全体にとっても、人材の育成は大切です。お客様へのサービスも地域とのコミュニケーションもすべて、そこに携わっている社員の資質の高さにかかっているからです。日遊協では今年度、店長・管理職能力開発講習を全国で11回、人事担当者を対象にした人材育成フォーラムを3回予定しています。これに加えて、中堅管理職を対象にした遊技産業マネジメント・カレッジを毎年1回行っています。これらとは別に、日遊協が他団体の協力で実施している遊技機取扱主任者講習・試験が、新規・更新合わせて36回あります。

昨年12月7日には、謝リクルートの「リクナビLIVE」に遊技産業を代表する形で「ばちんこ業界特集」のブースを出展しました。出展は3回目となります。603人の学生さんがブースを訪れてセミナーに参加してくれ、盛況に終わりました。同時にリクナビのサイトにも「ばちんこ業界特集」をアップしました。これらの試みによつて

学生さんたちが遊技業界に興味を持ち、就活の対象に考えてくれて、業界関連企業へ優秀な人材が来てくれるといい、来てくれないまでも業界のイメージアップになって若い人材がホールに足を運んでくれればよいと期待しています。

楠 企業にとつて、優秀な人材を採用し、これまで培ったノウハウを先輩から後輩へ伝承することはとても重要なことと考えます。遊技産業を代表して「ばちんこ業界特集」のブースを出展し、就職希望者に対して業界の概要を説明されたり、次世代人材の育成を目的として中堅社員を中心に遊技産業マネジメント・カレッジを開催されるなど、人材育成の観点から御努力されているものと感じます。業界団体幹部の方と次世代を担う若手が、業界のあるべき姿について議論されていることは、業界の未来にとつても意義深いことだと思います。現在の業界の取組が今後も更に充実することを期待しています。

行政とのパイプ
さらに太くし健全化へ邁進

庄司 日遊協は昨年6月の通常総会で一般社団法人への移行を正式に決定し、それに伴う定款の改正等が承

する前の段階で改善を図るだけでなく、のめり込みに限った方の回復という観点からも、有益な取組がなされていると認識しております。

今後引き続き、リカバリーサポート・ネットワークを始めとする回復支援団体への支援を拡大し、のめり込み問題に悩み、苦しむ人々に十分な対応が行き届くようにしていきたいと思っています。

のめり込み問題は、ばちんこ遊技の負の側面と言われることがありますが、この負の側面もしっかりと取り組むことは、ファンが、安全に、安心して遊技できる環境の整備の一環でもあります。引き続き業界全体で真摯に対応していただきたいと思

植林や清掃など社会貢献活動をさらに進めたい

庄司 社会貢献は日遊協活動の大きな柱だと思っています。東日本大震災被災地でのボランティア活動として、昨年も東京都・関東支部と九州支部からの出動がありました。昨年5月には、大津波で壊滅した青森県千楽間140kmの海岸防災林を再生する林野庁のプロジェクトに賛同し、仙台市荒浜地区でクロマツ、ヤマザ

認められました。直ちに内閣府委員会との移行作業に入りまして、今年4月から一般社団法人に生まれ変わる予定です。新しい法人になっても、業界唯一の横断組織として行政とのパイプをこれまで以上に太くし、業界の「健全化」「近代化」「適正化」社会的地位の向上に尽力します。そして、健全な大衆娯楽を目指した取組を推進していきます。

楠 貴協会は、平成元年の設立以来、業界唯一の横断的組織として、各業界団体と協力の下、射幸性を抑えた遊技機の開発、不正防止対策、環境対策等、長きにわたり、真摯に対応されました。ばちんこ業界が一定の社会的評価を受けるに至ったのも、貴協会の地道な御努力があつてこそのもので感じております。

これまで貴協会が業界をけん引し、警察庁と連携して様々な問題に正面から対応してこられたことを踏まえれば、今後ともその存在価値は変わるものではなく、ばちんこ業界が團結して、大衆娯楽としての基盤を盤石なものとするため、貴協会が果たす役割は、ますます大きくなるのではないかと考えています。**庄司** 本日はありがとうございます。